



聖フランシスコの信仰の根本を見つめるノヴェナ

コンベンツアル聖フランシスコ修道会けがれなき聖母日本管区

回心と聖フランシスコ

アッシジの聖フランシスコの書き物より

聖フランシスコは、こう述べています。「主は、わたし、兄弟フランシスコに、回心を行うことを次のように始めさせてくださいました。わたしが罪の中にいた頃、ハンセン病の人々を見ることは、あまりにも苦いものに思われました。すると主ご自身がわたしを彼らの中に導かれ、また、わたしは彼らと共にいくつかしめを行いました。また、彼らのもとから離れると、わたしにとって苦いものに思えていたことが、わたしにとって心と体の甘いものに変えられました」（『遺言』1-3）。

（沈黙・しばらく黙想）

祈り

先唱 主よ、あなたは、聖フランシスコの弱さを受けとめ、
あたたかくへりくだるころ、深い平和、ゆるし、癒しで
聖フランシスコを満たされました。

一同 わたしたちも、聖霊の助けによって、
自分も他者も状況もありのままに受けとめ、
神に素直にゆだね、
あたたかくへりくだるころ、深い平和、
ゆるし、癒しを分かち合うことができますように。

先唱 聖フランシスコ、

一同 わたしたちのためにお祈りください。

十字架につけられたキリストと教会への信仰と、聖フランシスコ

アッシジの聖フランシスコの生涯と書き物より

聖フランシスコは、小さく崩れかかった聖ダミアノ教会において、十字架の板絵から、次のように語られました。「フランシスコ、行きなさい。そしてわたしの家を修復しなさい。あなたの見えているとおり、すべて壊れかかっています」。

聖フランシスコは、こう述べています。「主は、教会におけるこのような信仰をわたしに与えてくださいましたので、それゆえわたしは、次のように素朴に祈り、また言いました。『主イエス・キリスト、わたしたちは、全世界にあるあなたのすべての教会において、あなたを礼拝し、あなたを賛美します。あなたは、ご自分の聖なる十字架によって世をあがなってくださいましたからです』」（『遺言』4-5）。

（沈黙・しばらく黙想）

祈り

先唱 主イエス・キリスト、あなたは、
十字架の死に至るまでへりくだり、
弱さもある人々の集まりである教会に共におられ、
あたたかくへりくだるころ、深い平和、ゆるし、癒しで
満たそうとなさいます。

一同 わたしたちも、弱さのある教会において、
聖霊の助けにより、みことば、秘跡、聖職者を通して、
あたたかくへりくだる十字架の主のころ、深い平和、
ゆるし、癒しを受けとめ、分かち合えますように。

先唱 聖フランシスコ、

一同 わたしたちのためにお祈りください。

何も自分のものとせずに生きる聖フランシスコ

アッシジの聖フランシスコの生涯と書き物より

聖フランシスコは、裕福な家に生まれ、自分で考えて計画を実行し、神のことを思い起こさない生き方をしていました。しかし、あたたかくへりくだる神のこころと深い平和を体験した後は、それを分かち合うために、自己中心的な生き方や様々なものを手放し、神に深くより頼みながら生きていきます。

聖フランシスコは、こう述べています。「神のへりくだりをご覧ください。また、そのみ前にあなたがたの心を注ぎなさい。あなたがたもへりくだりなさい。そうすれば、この方によって高められます。したがって、あなたがたのものを何も、あなたがたのために保ってはなりません。そうすれば、あなたがたにすべてをささげてくださった方が、あなたがたをすべて受け入れてくださいます」(『会全体への手紙』28-29)。

(沈黙・しばらく黙想)

祈り

先唱 主イエス・キリスト、あなたは、
十字架の死に至るまですべてを手放し、
わたしたちに寄り添い、すべてを受けとめて、
あたたかくへりくだるこころ、深い平和をくださいます。

一同 わたしたちは、様々な形で神に支えられ、
生かされています。
そのことに感謝し、あたたかくへりくだる主にならって
歩むことができますように。

先唱 聖フランシスコ、

一同 わたしたちのためにお祈りください。

様々な絆としての家族における聖フランシスコ

アッシジの聖フランシスコの生涯より

聖フランシスコは、両親に育てられながらも、あたたかくへりくだる神のこころを深く体験してからは、天の御父を「お父さん」と呼び、家族のもとを離れます。また、あたたかくへりくだるイエスさまのこころを聖母のように聖霊によって抱き、分かち合う「母」となるよう、求めました。

同じ生き方を目指す仲間を、神のくださった「兄弟」と呼び、母親の愛情を超える愛で大切にしよう、望みました。また、自然界の様々なものが人よりも純粋に素晴らしい側面を神さまからいただいていることを感じ、「兄弟」「姉妹」と呼び、神の子どもとして敬意を抱きました。最期には、死も「姉妹」と呼び、天国へ伴う者として喜んで迎えました。こうして、宇宙全体が家族となりました。

(沈黙・しばらく黙想)

祈り

先唱 いくつしみ深い御父よ、あなたは、
ご自分のあたたかなこころを分かち合うため、
この世界を造り、聖霊によって聖母マリアを通して
御子をこの世に遣わしてくださいました。

一同 わたしたちは、聖霊の助けによって、
あなたのお造りになったもののうちに
あなたのいくつしみを見出し、
あなたの望みのうちに仕えることができますように。

先唱 聖フランシスコ、

一同 わたしたちのためにお祈りください。

**あたたかくへりくだるキリストのところに生かされる
聖フランシスコ**

アッシジの聖フランシスコの生涯と書き物より

キリストは、神に深くより頼んで神の平和を分かち合うよう、弟子たちを派遣なさいました。自己中心的な生き方、持ち物、他者からの表面的な評価を手放し、困難においても、ご自分のあたたかくへりくだるころ、平和、ゆるし、癒しを分かち合うよう、招かれました。

聖フランシスコは、福音書のことばからこのような呼びかけを強く感じ、喜びに満ちて、兄弟たちと共に応えていきます。こう述べています。「いと高き方で自身が、聖なる福音の様式に従って生きるべきことをわたしに啓示してくださいました」（『遺言』14）。

（沈黙・しばらく黙想）

祈り

先唱 　いつくしみ深い御父よ、あなたは、
御子キリストを通して、
わたしたちがどのように生きるべきかを
示してくださっています。

一同 　わたしたちは、あたたかくへりくだるキリストのころ、
平和、ゆるし、癒しを
聖霊の助けによって分かち合うために、
自己中心的な生き方を手放すことができますように。

先唱 　聖フランシスコ、

一同 　わたしたちのためにお祈りください。

**聖霊と聖なる働きを最も大切にする
聖フランシスコ**

アッシジの聖フランシスコの生涯と書き物より

聖フランシスコは、あたたかくへりくだるキリストのこころ、平和、ゆるし、癒しに生かされ、それを分かち合うことを大切にしました。しかしこれを実行しようとしても、人には自由意志も弱さもあるので、聖霊の助けが必要です。

『勅書のある会則』にこう記されています。「すべてを越えて憧れ望まなければならないことは、主の霊とその聖なる働きを抱き、常に清い心で主に祈り、迫害と（病気で）弱っている状態において謙遜と忍耐を抱き、また、わたしたちを迫害し、また責め、またとがめる人々を愛することである」（『勅書のある会則』10・8-10）。

（沈黙・しばらく黙想）

祈り

- 先唱 　いつくしみ深い御父よ、あなたは、
聖母を聖霊で満たし、
聖母が御子を宿し、生むよう、計画を立てられました。
聖母は、この御父の計画に自ら応えました。
- 一同 　わたしたちも、あたたかくへりくだるキリストのこころ、
平和、ゆるし、癒しを分かち合えるよう、
聖霊の働きでわたしたちを満たしてください。
- 先唱 　聖フランシスコ、
- 一同 　わたしたちのためにお祈りください。

神の望みに応えるために聖霊を願う
聖フランシスコ

アッシジの聖フランシスコの生涯より

キリストは、ゲッセマネでこう祈られました。「アッバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように」。キリストは、十字架上でいのちをささげるまで、御父の望みに応え続けておられました。

聖フランシスコは、神からのいつくしみ深い呼びかけに徐々に応えていきました。弱さ、不安、孤独、病、困難においても、自分の思いを神にゆだねながら、聖霊の助けによって、あたたかくへりくだるキリストのこころ、平和、ゆるし、癒しに生かされ、それを分かち合うことを大切にしました。

(沈黙・しばらく黙想)

祈り

先唱 いつくしみ深い御父よ、あなたは、
大自然、人との関わり、様々な出来事、みことば、
秘跡などを通して、
ご自分のあたたかなこころをわたしたちに伝え、
そのこころに生かされるよう、招いておられます。

一同 わたしたちは、聖霊の助けによって、
ありのままに自分を神にゆだねながら、
あたたかくへりくだるキリストのこころ、平和、
ゆるし、癒しを少しずつ大切にできますように。

先唱 聖フランシスコ、

一同 わたしたちのためにお祈りください。

神の望みに沿って神とすべての被造物に仕える聖フランシスコ

アッシジの聖フランシスコの書き物と生涯より

兄弟たちの人数が増える中で、あたたかくへりくだるのではなく、良いように見える口実のもと、厳しい禁欲生活を求めたり、放浪したり、自分の能力や学識で傲慢になったりする人も増えていました。

『勅書のある会則』には、こう記されています。「主が働く恵みをお与えになった兄弟たちは、忠実かつ献身的に働き、こうして靈魂の敵である怠慢を避け、聖なる祈りと献身の靈を消さない。この世のその他のことはこの靈に従属すべきである」（『勅書のある会則』5・1-2）。聖フランシスコは、こう述べています。「わたしは、他のすべての兄弟たちも慎ましい生活に結ばれた労働によって働くよう、しっかり望みます。（働くことを）知らない人々は、〔それを〕学びなさい。それは、労働の報酬を受ける欲望のためではなく、模範を示し、怠慢を避けるためです」（『遺言』20-21）。

（沈黙・しばらく黙想）

祈り

- 先唱 　いつくしみ深い御父よ、
わたしたちが善いことを行えるのは、
あなたが様々な形でわたしたちを支え、
生かしてくださっているおかげです。
- 一同 　わたしたちが、感謝をもってあたたかくへりくだり、
あなたの望みに沿って、あなたと人々、
すべての被造物に仕えることができますように。
- 先唱 　聖フランシスコ、
一同 　わたしたちのためにお祈りください。

主の平和・和解・ゆるしを分かち合う聖フランシスコ

アッシジの聖フランシスコの書き物と生涯より

聖フランシスコは、ハンセン病の人々との交わりや聖ダミアノ教会での出来事を通して、神が自分の弱さを受けとめてあたたかなところ、平和、ゆるし、癒しをくださっていることを深く体験しました。福音を通して示された神の促しに応え、主の深い平和をすべての人々、被造物と共に分かち合い続けました。

『勅書のある会則』でこう述べています。「わたしは、主イエス・キリストにおいてわたしの兄弟たちに忠告し、訓戒し、また奨励する。この世をめぐる時、争わず、口論もせず、他の人々を裁くこともしないように。しかし、〔小さき者に〕ふさわしく、柔和で、平和をもたらし、また慎み深く、穏和で、また謙遜であり、すべての人に対して礼儀正しいことばで話すように」（『勅書のある会則』3・10-11）。

（沈黙・しばらく黙想）

祈り

- 先唱 いくつしみ深い御父よ、あなたは、
聖フランシスコの過ち、弱さ、不安、困難を受けとめ、
あたたかなところ、深い平和、ゆるし、癒しを
分かち合い続けるよう、聖フランシスコを招かれました。
- 一同 わたしたちの過ち、弱さ、不安、痛み、困難も受けとめ、
わたしたちがあなたのいくつしみを感じながら、
あなたの深い平和、和解、ゆるしを分かち合えるよう、
導いてください。
- 先唱 聖フランシスコ、
- 一同 わたしたちのためにお祈りください。